

## 分析事例Ⅱ：観光客増加による経済波及効果

イベント開催や観光 PR 政策等により、県内への観光客(総計 4.5 万人)が増加した場合の経済波及効果を分析します。

### 1 分析の入力値

- 分析には「平成 27 年経済波及効果分析ツール(観光消費分析ツール)」を使用します。
- 観光客増加数、旅行者消費単価については下記の通りとします。

	県内から	県外から	訪日外国人	合計
宿泊旅行者数	20,000	10,000	7,000	37,000
日帰り旅行者数	5,000	3,000	0	8,000
合計	25,000	13,000	7,000	45,000

	県内から	県外から	訪日外国人
宿泊旅行者数	20,000	30,000	50,000
日帰り旅行者数	10,000	15,000	0

- 消費転換係数は、総務省「家計調査(仙台市の二人以上勤労者世帯)」における令和2年～令和4年の消費支出／実収入の3か年平均 0.5594 を使用します。

### 2 分析の結果

- 県内への観光客が 4.5 万人増加したことによる経済波及効果は 15.83 億円、雇用効果は 163 人となります。
- 経済波及効果の内訳は、直接効果 10.73 億円、第一次波及効果 3.30 億円、第二次波及効果 1.80 億円となり、総合波及効果として 15.83 億円となります。
- 部門別波及効果をみると、第一次波及効果は、対事業所サービス(7,900 万円)、商業(3,700 万円)、運輸・郵便(3,700 万円)などで大きくなっています。第二次波及効果は、不動産(5,300 万円)、対個人サービス(2,300 万円)、商業(2,100 万円)などで大きくなっています。

○ 二酸化炭素排出量(エネルギー起源)は 1,734t-CO<sub>2</sub>、温室効果ガス排出量は 1,929t-CO<sub>2</sub>eq となっています。

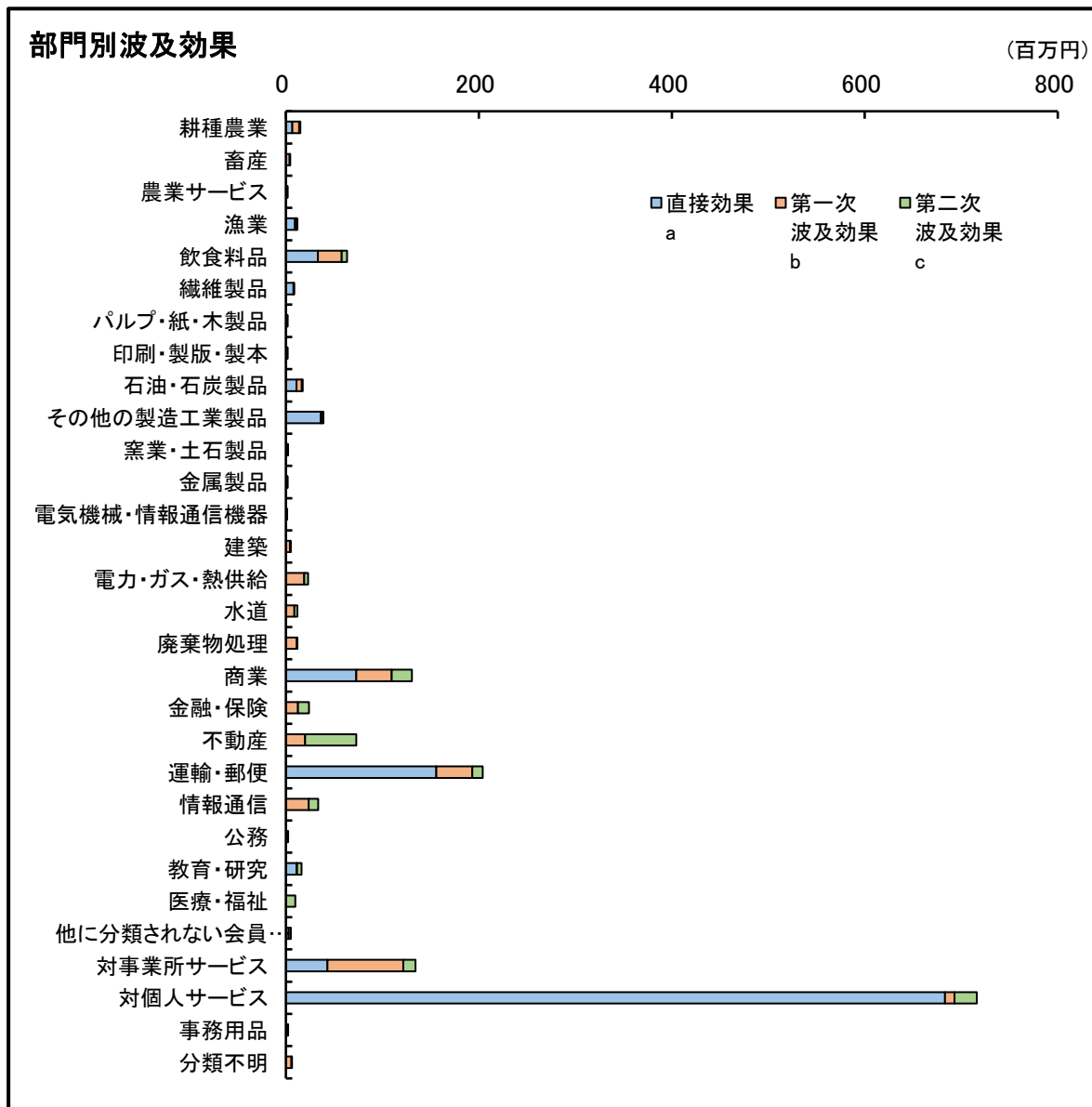
II - i 経済波及効果

(億円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	総合波及効果		雇用者数
				うち粗付加価値		
分析結果	10.73	3.30	1.80	15.83	8.69	163

※百万円未満は四捨五入しています。

II - ii 部門別波及効果



※百万円未満の部門は省略しています。